

第3次津市男女共同参画基本計画(案)に対するパブリックコメント(意見募集)の結果について

No.	頁	項目など	意見の概要	意見に対する考え方
1	6	第2章計画策定の背景 2日本の動き	ジェンダー・ギャップ指数を2017年の最新にしてください。	ご意見のとおり修正します。 【修正前】 同年10月に公表されたジェンダー・ギャップ指数は、144カ国中111位 【修正後】 平成29年(2017年)に公表されたジェンダー・ギャップ指数は、144カ国中114位
2	12	第2章計画策定の背景 5男女共同参画を取り巻く津市の現状 (4)政策・方針決定過程への女性の参画状況	文章の最下段「……うかがえます。」という表現に違和感を持ちます。 審議会の女性比率が30%を割っている(21.9%)ことについては行政の取り組みと本気度が不十分の結果です。行政が本気で目標30%を超える意志と体制を引けば可能な数値です。30%は最低目標値であり40%を到達している市町もあります。 男女共同参画都市宣言、条例策定中の「対等な構成員及び参画、社会的利益を享受、機会が十分に確保される」を具体化してください。 意思決定の場に20数%しかいない津市は、男女共同参画都市ではありません。審議会委員が30%の目標に達していないのでは他の分野へ啓発、助言をしても全く説得力がありません。 女性の意見が反映されない津市の現状と将来の発展を危惧します。首長には、目標を達成する強いイニシアチブを発揮するよう期待します。	ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 活躍を後押しする体制や環境づくりの整備の必要性がうかがえます。 【修正後】 活躍を後押しする体制や環境づくりの一層の整備促進が必要です。

No.	頁	項目など	意見の概要	意見に対する考え方
3	16 17	第2章計画策定の背景 7課題のまとめ	枠内の文末表現を統一してください。 「…求められています。」を「…必要があります。」に変更してください。 「…求められています。」は、誰から誰に対しての表現か分かりません。	ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 1 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の促進について 仕事と家庭生活の両立のための支援が求められています。 引き続き地元事業所への啓発とともに取り組みに対する支援が求められています。 2 政策・方針決定の場における女性の活躍推進について その達成のため女性の人材育成やその活用につながる仕組みづくりを検討していくことが、一層求められています。 一方、今回の意識調査結果では、 一方で、職場の管理職について「機会があれば引き受ける」という回答が高い結果も見られました。このような状況から、地域や職場において、女性が活躍できるよう男性中心型就労慣行から、男女が共に働き、共に支え合う地域社会へと意識改革を一層推進することが求められています。 4 人権が尊重される環境の整備について また、子どもを取り巻く家庭や教育環境について、小さい頃からの男女共同参画意識の浸透を図ることが求められます。 さまざまな相談に適切な対応を行うなど、当事者への支援体制の充実が求められます。 【修正後】 1 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の促進について 仕事と家庭生活の両立のための支援が必要です。 引き続き地元事業所への啓発とともに取り組みに対する支援が必要です。 2 政策・方針決定の場における女性の活躍推進について その達成のため女性の人材育成やその活用につながる仕組みづくりが必要です。 今回の意識調査結果では、 一方で、女性従業員において職場の管理職を「機会があれば引き受ける」という回答が高い結果も見られました。このような状況から、地域や職場において女性が活躍できるよう、男性中心型就労慣行を改め、男女が共に働き、共に支え合う地域社会が実現するよう意識改革を一層推進することが必要です。 4 人権が尊重される環境の整備について また、子どもを取り巻く家庭や教育環境について、幼少期からの男女共同参画意識の浸透が必要です。 さまざまな相談に適切な対応を行うなど、当事者への支援体制の充実が必要です。
4	17	第2章計画策定の背景 7課題のまとめ 4人権が尊重される環境の整備について	「小さい頃から…」→「幼少期から…」に変更する。 「女性に対する暴力や脅しなどの経験者は…」→「女性に対する暴力や脅迫、性暴力などの体験者は…」に変更する。	ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 小さい頃からの男女共同参画意識の浸透 【修正後】 幼少期からの男女共同参画意識の浸透 【修正前】 「大半を占めていますが、女性に対する暴力や脅しなどの経験者は、一定の割合で存在している状況です。」 【修正後】 市民意識調査の結果から、暴力や脅しなどの経験者は女性だけでなく男性でも見られることから、下記のとおり修正します。 「大半を占めているものの、配偶者や恋人など親しい関係にある人から暴力や脅しを受けた人も一定の割合で存在しており、その割合は男性に比べ女性で高くなっています。」

No.	頁	項目など	意見の概要	意見に対する考え方
5	17	第2章計画策定の背景 7課題のまとめ 5男女共同参画のさらなる啓発と推進体制の強化について	「計画の推進体制のあり方が大切です。」→「計画の推進体制のあり方が課題です。」に変更する。 「市民との協働体制の確立や…」→「市民、企業、学校、地域、行政内部との協働体制の確立や…」に変更する。	ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 さらなる啓発を進めるとともに、 <u>市民との協働体制の確立</u> や庁内関係各課との連携体制の強化を図る必要があります。 【修正後】 さらなる啓発を進めるとともに、 <u>市民や各団体などとの協働体制の確立</u> や庁内関係各課との連携体制の強化を図る必要があります。 【その他を現行のままとする理由】 計画の推進体制については、文章一段落目の課題を受けて二段落目に方向性を示しているため、ご意見の趣旨を反映していると考えます。
6	47	第4章施策の推進 基本目標Ⅲ身近な暮らしにおける男女共同参画の推進 数値目標	目標数値の18.0%の防災会議における女性委員の比率を30%に変更してください。防災、減災、復興、復旧への女性の参画は最重要課題です。近々に南海トラフ地震の確率が高いこと、近年の異常気象による大型災害発生確率を勘案すると30%はポジティブアクションを導入してでも達成すべき数値です。	ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 防災会議における女性委員の比率 目標値 18.0% 【修正後】 防災会議における女性委員の比率 目標値 20.0% 会議の性格上、あて職(ある職に就いているものに他の職を兼任させる)を委員選任条件としていることには合理性があります。あて職に該当する委員に男性が多い現状では、一挙に女性比率を30%へ引き上げることは困難な状況にあります。 あて職以外の委員については、今後も各団体に女性を選任していただくよう依頼し、2名程度の増加を目標値として女性の比率を20%とします(あて職以外の女性比率は、現在19名中7名で36.8%)。 なお、防災計画策定や災害時の避難所運営などにおいては、女性の意向が十分に反映されるように努めます。
7	48	第4章施策の推進 基本目標Ⅳ人権が尊重される環境の整備 現状と課題	「暴力の多様化や若年層への被害拡大も見られます。」 暴力の多様化→暴力が多様化しているのでしょうか。暴力の手段が多様化しているのでしょうか。 若年層→何歳から何歳を若年層としているのでしょうか。18歳以下であれば犯罪被害と記載するべきです。若年層の定義を「※印」で説明してください。 オレンジリボン、パープルリボンキャンペーン等には庁舎壁面に懸垂幕を吊り下げて啓発してください。	ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 <u>暴力の多様化や若年層への被害拡大</u> も見られます。 【修正後】 <u>暴力や人権侵害が多様化し、若年層への拡大</u> も見られます。
8	53	第4章施策の推進 基本目標Ⅳ人権が尊重される環境の整備 施策の方向⑮子どもの頃からの人権尊重と男女共同参画の理解の促進	「子どもの頃」の子どもは何歳ですか。 幼児、児童、学童でしょうか。 年齢区分を書いてください。	ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 ⑮ <u>子どもの頃から</u> の人権尊重と男女共同参画の理解の促進 人権尊重について、 <u>子どもの頃から</u> の男女共同参画の学習機会を設け、 【修正後】 ⑮ <u>幼児期から</u> の人権尊重と男女共同参画の理解の促進 人権尊重について、 <u>幼児期から</u> の男女共同参画の学習機会を設け、

No.	頁	項目など	意見の概要	意見に対する考え方
9	62	第4章施策の推進 基本目標Ⅴ男女共同参画のさらなる 啓発と推進体制の強化 数値目標	企業が集積している本市において1年間で2事業所増加の結果、目標数値40事業所では少ないです。	現行のままとします。 【理由】 年間40事業所の目標値を着実に達成できるよう取り組みを進めるとともに、さらなる推進を目指してまいります。 また、数値目標の表現について、毎年度の施策の成果としての数値と計画期間である5年間を通した施策の成果としての数値とがあり、区別がつきづらいことから、毎年度の施策の成果としての数値である「市民権講座の参加人数(延べ)」「事業所訪問による啓発」「男女共同参画フォーラム参加人数」については、「(毎年)」という表現を追記いたします。
10	64	第5章計画の進め方 1男女共同参画を推進する体制	審議会で検討したポイントや概略を男女共同参画機関紙に掲載して市民に知らせてください。 津市男女共同参画審議会において、年度ごとに各担当部局が実施した事業及び基本目標の計画期間の事業評価を行い、計画最終年にPDCAの評価ができる仕組みを構築してください。 フォーラムにおいて、各部局の事業のPDCAを報告してください。また、市民、地域、学校、事業所、各種団体の代表者が一堂に会したシンポジウムを実施する等、内容の充実を図ってください。 第2次計画と同様のフォーラムを実施しているのは、男女共同参画への市民の関心が薄れるばかりです。	現行のままとします。 【理由】 審議会での検討内容や年度ごとの事業評価については、市ホームページに掲載しています。 また、PDCAについていただきました御意見の趣旨は、本章 2 計画の進め方に反映させていますので、庁内及び関係機関の連携を強化し、計画的に進めていきます。 フォーラムについても、市民の男女共同参画意識向上のため、ご意見を十分に参考とし検討させていただきます。
11	全体	用語解説	「※印」の用語解説はページ毎ではなく、用語解説として本文の最後にまとめてください。 複数のページに「※印」の用語が出てくるので資料としてまとめてある方が意味把握がしやすいです。また、用語の意味が分からない場合、記載ページに戻って用語解説を探さなくて済みます。用語理解の学びにもなります。	ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正内容】 本文の注釈は現行のままとし、参考資料に用語解説を掲載しました。
12	全体	第4章施策の推進 施策①～⑱	担当部署を起点にした図表になっていますが、市民のライフステージに沿った市民目線の図表に変更してください。	現行のままとします。 【理由】 同図表については、施策の方向に沿って作表し、担当部署を明確にし、それぞれが責任をもって推進するため、このような表現になっておりますことをご理解いただきますよう、お願いいたします。
13	全体	数値目標	数値目標の根拠が分からないので妥当性もわかりません。数値の根拠を示してください。数値目標の捉え方として「〇〇～〇〇%」「〇〇～〇〇件」という目標設定もあります。	現行のままとします。 【理由】 現状値及び5年間という計画期間を踏まえ、達成できる現実的な数値目標としました。